

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称 施策I-1-4
企業立地の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

企業立地課 大谷 幸生

電話番号

0852-22-5764

事務事業の名称	工業団地の整備及び管理等事務	
目的	(1) 対象	ソフトビジネスパーク島根
	(2) 意図	「自然と調和する公園の中の研究開発ゾーン」というコンセプトを確保し、企業団地としての魅力の維持及び向上を図る。
事業概要	ソフトビジネスパーク島根の魅力の維持向上を図る。 ・情報基盤維持管理事務 研究開発型企業の集積に不可欠なインフラである情報基盤を維持管理する。 ・公園維持管理事務 企業団地としての魅力の維持及び向上を図るため、パーク内の公園を維持管理する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	ソフトビジネスパーク内の新たな立地企業数	目標値	3.0	3.0	3.0	3.0	社
	式・定義	ソフトビジネスパークでのインキュベーションルーム等への入居も含めた新たな立地企業数(認定は問わず)	実績値	4.0	5.0			
			達成率	-	166.7	-	-	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	12,787	11,858
うち一般財源(千円)	12,787	11,858

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

- 平成28年度は5社(用地取得を伴う進出2社、レンタルオフィス入居3社)の立地があり目標の3社を上回った。
- 入居企業の従業員の利便性を向上させる施設の不足。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

- インターネット接続環境や団地内の公園管理等を適切に行うことで、立地環境としての魅力の維持や向上につながり、立地企業の増加につながった。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

- コンビニエンスストアや銀行ATM等の利便施設の設置が進まない。

②困っている状況が発生している「原因」

- 団地内幹線道路の交通量がまだ少なく、コンビニ事業者の設置基準に達していない。

③原因を解消するための「課題」

- コンビニ等の設置を促進するための方策の策定

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- 更なる企業集積により団地利用者等の増加を図るとともに、コンビニエンスストア(銀行ATMを含む)等の利便施設の設置が早期に実現するための方策を検討し、事業者等への働きかけを行う。